

テーマ おどる の えほん

しよめい	ちょしゃ	しゅつぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
うさこちゃんのだんす	ディック・ブルーナ/ぶん・え まつおか きょうこ/やく	福音館書店	SIホン	せんせいからだんすをおしえてもらったうさこちゃんは、かぞくやしんせき、ともだち、ひつじ、こいぬといっしょにおどりました。おどったあとうさこちゃんは、せんせいにたのしかったとはなしました。はなしをきいたせんせいは、なんといったのでしょうか。
アンジェリーナはじめてのステージ	キャサリン・ホラバード/文 ヘレン・クレイグ/絵 おかだ よしえ/訳	講談社	Eホン/ク	アンジェリーナはバレエがだいすきです。いとこのヘンリーもバレエきょうしつについてきてたのしそうにおどっています。そんなふたりがゆうめいなポポフせんせいのバレエこうえんにでることになりました。アンジェリーナはヘンリーがちゃんとできるかしんぱいです。
あたごの浦	脇 和子・脇 明子/再話 大道 あや/画	福音館書店	Eホン/タ	あるお月さんのきれいな晩のこと。あたごの浦の砂浜は、お月さんに照らされて、キラキラ光っていました。あんまりきれいなので、魚たちは演奏会をすることにしました。歌ったり、踊ったり、芸をしたり「妙々々々々」というかけ声も楽しくはやしたてます。
おどる12人のおひめさま	エロール・ル・カイン/え やがわ すみこ/やく	ほるぷ出版	Eホン/カ	ある国に12人のきれいなおひめさまがいました。王さまはひめたちがまいばんどこでおどっているのかをつきとめたものには、ほうびとして、ひめをひとり妻にできるというおふれをだします。ある日、まずしい兵士がふしぎな上着をもって王宮にやってきました。
まんげつのよるまでまちなさい	マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく ガース・ウィリアムズ/え まつおか きょうこ/やく	ペンギン社	Eホン/ウ	あらいぐまのぼうやは、「よる」をみたいとおもいます。けれども、おかあさんは「まんげつになるまでまちなさい」といいます。ぼうやは、まちどおしくてしかたありません。あれこれかんがえながら、まっています。やっと、そのよるがやってきました。
ダンスをならう	ヘレン・オクセンバリー/作・絵 谷川 俊太郎/訳	岩崎書店	SIホン	ラジオからながれてくるおんがくにあわせておどっていると、ハハが、「ダンスをならい(にい)くべきよ」といいます。タイツとくつをかって、さあきょうからダンスのおけいこです。みんなでならんで、「ひざをまっすぐ、つまさきでたって」とせんせいにならいます。